

2022年7月ハイパーカレンダーレポート

7月は早々に、通信大手 KDDI で通信障害が発生し、3千万人を超えるユーザーに被害を与えたことで始まった。全面復旧まで約3日間という長時間に渡ったのが今回の特徴だ。おかげで、今や社会インフラとなった携帯通信網であることを思い知らされて、個人の電話やメールが使えないというだけでなく、金融や決裁、気象観測データ収集や空港の通信システムなどにも深刻な影響を及ぼした。KDDI は補償として請求額から一律200円差し引くことを発表した。その積算金額は数十年前に設定されたもので、時代に見合わないのではないかという意見が噴出した。2021年にはドコモ、2018年にはソフトバンクも通信障害を起こしていることから、将来的には何らかのセーフティーネットが必要でないだろうか。

続いて、戦前の軍事国家時代を彷彿させるような事件が発生した。自民党の安倍晋三元首相が奈良市で参院選の応援演説中に、背後から銃撃されたのだ。心肺停止の状態での病院に搬送、その後死亡が確認された。元海上自衛隊員の山上徹也容疑者に政治的な意図はなく、宗教団体による家族崩壊の原因を恨んでの犯行であった。数日後の参議院選に影響を与えたかどうかは神のみぞ知るところだが、自民党が改選125議席のうち63議席を獲得して大勝、改憲勢力が参議院の3分の2を上回ったことで、今後議論が進むだろうか。一方、当選した女性議員数は35人で過去最多となったが、民主主義を標榜するうえで約3割というのはいかがなものか。また衆議院議員も合わせた比率は15.4%と先進国の中では格段に低い。男女という民主主義の根幹を暗殺と比較するのも変だが、身近な変革も大事な気がする。

ハイパー研では、商業系の高校を回ってアイデアソンを実施した。これは、大分県教委の高校教育課の委託事業であり、地域課題を発見、解決できるビジネスリーダーとして、将来の地域創生を担い活躍できる人材の育成のため、年間全9回を各地で行うもので、7月はその皮切りにほぼ半分の4回を実施した。Society5.0の近未来に向けて、環境変化に応じた課題に対する解決策等は、これから社会参画していく高校生にとって大切である。従来の商業、産業の技術習得に重きを置いた教育課程だけでなく、デザインシンキングの手法でもって、高校生の主体性や能動性を養うために、グループで協働し探究のプロセスを学ぶものである。一方で、新型コロナウイルス「第7波」の勢いが増し、国内の新規感染者が23万人を超えるなど過去最多を更新。東京では初めて1日当たり4万人超の感染が確認された。教室という密室の中、エアコンはあっても窓を開放せねばならず、アイデアソンの運営には苦労したが一人一台iPadのアプリは大変活躍して、議論少なくともツールが助けてくれた。相変わらずイベントを自粛する自治体や団体が多く、結果責任に対するリスクヘッジは難しいが、テクノロジーとリーダーシップの匙加減で、地域の若者には活力を与えたいものだ。

(文責：青木栄二)